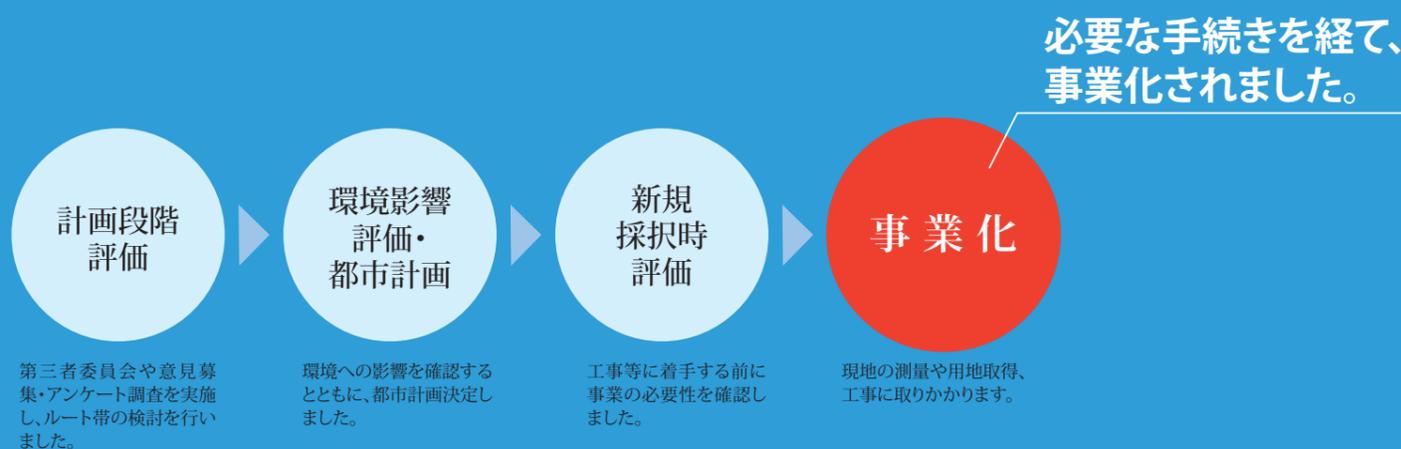


日本海沿岸東北自動車道（朝日～温海）

一般国道7号

朝日温海道路が 事業化されました。

【事業化までの流れ】



事業着手までの取り組み

朝日温海道路は、地域の皆様の声をお聴きしながら、様々な手続きを経て事業化されました。

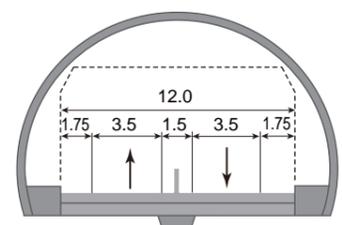
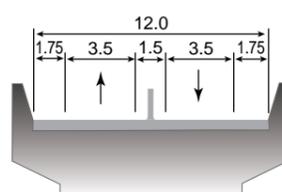
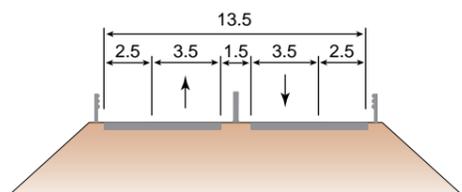
- 平成23年8月23日 計画段階評価着手が決定
- 平成24年1月末 対応方針決定
 - ・ 国道7号とのスムーズな接続に配慮したルート帯（Bルート帯）
 - ・ 全線で新たに高速道路を整備
- 平成24年7月末 都市計画決定に向けて、関係機関との協議に着手
- 平成24年9月 都市計画と環境影響評価に関する説明会を開催、オープンハウス(個別相談窓口)を設置
- 平成25年1月 都市計画決定告示(新潟県側) ※山形県側:平成24年12月 決定告示
- 平成25年4月 社会資本整備審議会 道路分科会 第3回東北・北陸地方合同小委員会
社会資本整備審議会 道路分科会 第9回事業評価部会
- 平成25年5月15日 一般国道7号 朝日温海道路 事業化

事業概要

一般国道7号 朝日温海道路(日本海沿岸東北自動車道)

朝日温海道路は、高規格幹線道路 日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次救急医療施設へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とした延長40.8kmの道路です。

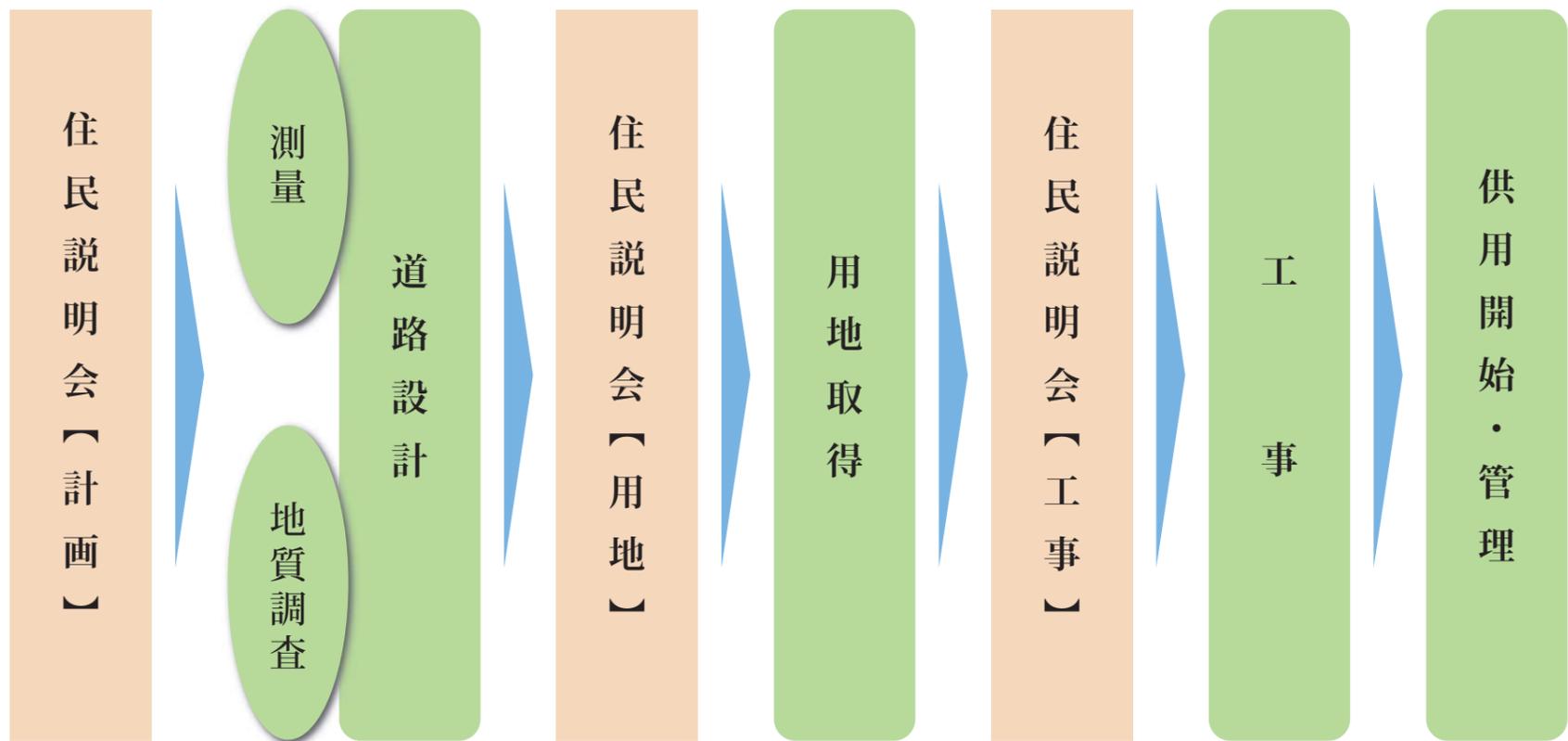
- 区 間 起点 村上市川端(朝日まほろばIC) 終点 鶴岡市大岩川(あつみ温泉IC)
- 延 長 40.8km(新潟県区間:34.1km 山形県区間:6.7km)
- 設計速度 80km/h
- 標準断面図 土工部 W=13.5m 橋梁部 W=12.0m トンネル部 W=12.0m



【凡例】
 — 供用中区間
 - - - 対象区間

朝日温海道路のプロジェクトを進めてまいります。

供用開始までの概ねの流れは、以下の通りです。
今年度は、測量や設計を行います。



●新規事業採択時評価

TOPIC

朝日温海道路は、
新規事業採択時評価での審議を経て、事業化されました。



第3回東北・北陸地方合同小委員会

朝日温海道路は、事業実施環境（都市計画、環境影響評価等）が整ったことを受け、事業効果や緊急性、予算の状況等をふまえ、平成25年度新規事業化候補箇所として選定されました。

平成25年4月23日、社会資本整備審議会 道路分科会 第3回東北・北陸地方合同小委員会に諮り、耐災害性や国際競争力向上の観点から、新規事業化は妥当とのご意見をいただきました。

平成25年4月24日、同分科会 第9回事業評価部会も同様に新規事業化は妥当とのご意見をいただき、国会での予算審議を経て、平成25年度新規事業化が決定しました。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課
新潟県 土木部 道路建設課 高規格道路推進室
村上市 都市整備課

TEL.025-246-7775 FAX.025-246-7763
TEL.025-280-5845 FAX.025-285-6225
TEL.0254-53-2111 FAX.0254-53-3840